

# むすぶ33

## 弥彦村社会教育だより

令和6年6月24日  
弥彦村社会教育委員の会

### 《社会教育委員の会 R6年度の取組》

今年度、弥彦村社会教育委員は、退任2名、新任2名で昨年同様の10名が任命されています。社会教育委員は、教育委員会が委嘱し社会教育に関する事項について、教育委員会に助言する役割を果たす委員です。しかし、委員が一人で活動するのは難しいと考え、「社会教育委員の会」という任意の会を組織することとし、平成27年3月に設立しました。本会は、委員一人一人が学校・家庭・地域をつなぐパイプ役となり、家庭・地域の教育力の向上と地域づくりのため、行政と村民をつなぎ、社会教育のネットワークの形成に取り組むことを目的としています。

R6年度は、次の事業を行うこととしました。

- (1) 村民の意見を聞き、ネットワークを築くための交流会を実施する。
  - ・毎年、秋に実施している「地域づくり交流会」を今年度も実施します。
- (2) 地域づくり、地域貢献のためのイベントを企画・運営する。
  - ・4年目となるあいさつ運動で、2回の強調週間を設け、運動を推進します。
  - ・弥彦ユースプランナーと連携して、イベントを企画・実施します。
- (3) 生涯学習と社会教育に関する情報を発信する。
  - ・社会教育だより「むすぶ」とInstagramを活用し、生涯学習と社会教育の情報を配信します。
- (4) 生涯学習と社会教育に関しての提言をまとめる。
  - ・次年度への提言を作成し、生涯学習と社会教育に関して村に意見を述べます。
- (5) 委員としての力を付けるための研修を行う。
  - ・今年度柏崎市で開催される社会教育研究大会で、村の社会教育委員の取組について事例発表します。
- (6) 社会教育課に協力して、社会教育事業を推進する。
  - ・公民館事業に関して、社会教育課と連携して事業の推進を図ります。

委員の会では、年間、会議5回、研修会3回、交流会1回、あいさつ活動10回、YYP活動4回と、合計23回の集まりがあります。「できる時に、できる人が、できる事をやる」を合言葉に、村を盛り上げることができるように取り組んでまいります。村民の皆様、社会教育委員への活動に、どうぞ、ご協力ください。  
(文責 渡辺和)



あいさつ活動



YYP協議会



地域づくり交流会

## 《弥彦ユースプランナー R5年度まとめ》

令和6年3月28日、YYPメンバー、弥彦村教育長、社会教育委員長と共に先日作成した提言書を本間村長へ直接渡すため、当日都合が合った5名の委員が村長室を訪問しました。都合がつかず5名の委員しか参加できませんでした。

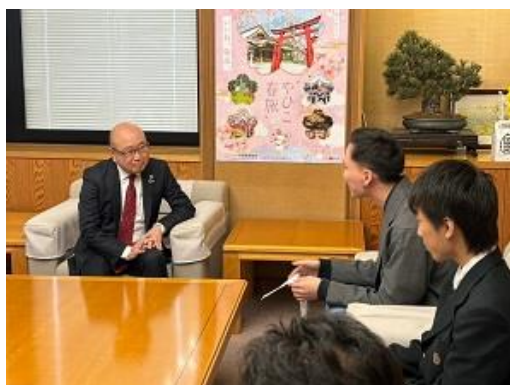
最初に、今年度のYYPの活動内容についての説明と来年度の展望について阿部慈導さんが、村長に報告しました。続いて、提言書の内容について、詳しい説明を渡邊昊大さんが行いました。

その後、参加したメンバー一人一人から、今年度の活動を通しての感想や次年度に向けての抱負を語ってもらいました。「YYPに参加してよかった。」「異年齢の人との協議は勉強になった。」「はじめは嫌だったが、来年もやりたいと思うようになった。」との発表に、委員の成長を感じた感想発表になりました。

また、せっかくの機会なので、村長に意見を述べても良いとの呼びかけに、積極的に手が上がり、全員が村長に意見を述べました。本間村長は、時折メモを取りつつ、質問を返したりしてメンバーの話を聞いてくださいました。「ここまでしっかりとリアリティのある意見に身の引き締まる思いです、実際に取り組み始めたこともあるが、できる事に取り組んで行きたい。ありがとう。」と、報告と提言書の内容、感想と意見の発表を褒めていただきました。メンバーも少しホッとした嬉しそうな表情を見せていました。

最後は一緒に写真を撮っていただき、とても有意義な時間を過ごしました。この時の様子は、広報やひこ4月25日号、新潟日報4月9日号に掲載されました。弥彦村社会教育委員の会Instagramアカウントでも掲載しています。

R5年度のYYPの活動は一旦終了しますが、R6年度へ向けてのバトンは引き継がれました。村民の皆様、引き続きYYPの活動を暖かく見守ってください。（文責 阿部）



令和5年度の提言書内容は以下の通りです。（抜粋）

### 1 弥彦村公式アプリの開発

弥彦村民、また弥彦を訪れる観光客が簡単に弥彦村に関する情報にアクセスできるアプリの開発を提案する。アプリの機能としては、下記に示すものを想定している。



- ・ 弥彦村内の施設情報を掲載する GIS を用いた地図
- ・ イベント情報
- ・ 弥彦村の天気
- ・ 掲示板
- ・ 弥彦村で撮影された写真をもとに作成した壁紙の配信
- ・ デジタルスタンプラリー

## 2 空き家物件の積極的活用

弥彦村にある空き家物件と弥彦村で出店を考えている人を結びつけ、出店をサポートすることを提案する。また、高齢者が家の近くで生活必需品等を購入できる店舗を出店する。

## 3 吉田駅への公共交通の充実

自動運転車両を活用し、JR 彦線の始発前や終電後の時間帯に吉田駅と弥彦村を繋ぐルートでの運行を提案する。始発前や終電後は比較的交通量が少ない時間帯であり、安全性や定時運行を考えた時に、自動運転車両を活用しやすい時間帯であると考えます。

## 4 らいわ弥彦の利用ルールの明確化

開館から一定期間が経過した現在の利用状況を踏まえ、現状の利用ルールの評価と、改めて利用者に対する利用ルールを明確に周知し、すべての人が気持ちよく利用できる、らいわ弥彦にすることを提案する。

## 5 小学校における清掃回数の変更

校内の環境を綺麗に保つために、清掃の回数を増やすことを提案する。

## 《新任委員紹介》

### 三富浩子委員

今年度から社会教育委員に任命され、活動させていただくことになりました三富と申します。

子育ても一段落し孫の成長を楽しみに見守る立場となって、改めて社会教育の重要性を認識しているところです。今回の就任を機に、「子供から高齢者まで心豊かで充実した人生を送ることができる」を念頭におきながら、どんなことをどのようにすればよいかを考え活動していきたいと思っております。

まずは、歴代の委員が推進してこられたあいさつ運動や地域づくり交流会などの事業に参加しながら、先輩委員の方々に教えていただき勉強していきたいと思っております。広い識見が必要であろうと思っていた社会教育委員のお仕事に、縁あって回ってきました。力不足だけど地域や職場での経験が少しでも役に立てばと・・・今考えると安易に引き受けてしまったと反省しています。力み過ぎず自分なりに身の丈に合った活動に努めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。



### 二村清人委員

今年度より社会教育委員に任命されました二村清人です。

社会教育委員の皆さんとは3年前にPR動画コンクールで一緒に活動させていただいた思い出がありますが、今回改めて社会教育委員のお声がけをいただきました。今まで経験させていただいた小学校PTA会長や商工会などの経験を活かし、子どもたちや弥彦村のために少しでも貢献できるよう活動していきます。よろしく願いいたします。



## 《燈籠まつりに向けて・・氏子青年会》

弥彦神社氏子青年会の活動を紹介します。

燈籠祭りの日、7月25日午前には、小学生、中学生が参加する子ども燈籠押しがあります。初めて祭に参加することになる小学4年生を対象にした花燈籠づくりと燈籠の担ぎ方の練習が行われます。そこに、毎年、氏子青年会が、指導者として参加しています。

6月13日（木）は、花燈籠の花づくりが行われました。青年会の指導の下、一生懸命に花づくりに取り組み、上達を確認できました。7月2日（火）には、保護者の方も呼びびして、花燈籠づくりと燈籠の担ぎ方の練習が行われます。自分たちで作った花で花燈籠を作り、その燈籠を使って燈籠の担ぎ方、巡行の仕方、木遣り、押し合いのやり方などを子どもたちに指導します。最後には、息の合った押し合いができるようにすることが目標です。

氏子青年会では、中学生の指導も行っており、6月28日（金）には、中学校において花燈籠づくりと燈籠押しの指導を行います。青年会の会員も小中学生の時に、氏子青年会から指導を受けており、伝統を引き継ぐことの重要性を理解して指導に当たります。今年も、素晴らしい燈籠まつりになることを願っています。  
(文責 二村)



担ぎ方練習



押し合いの練習 1



押し合いの練習 2



押し合いの練習 3

委員 ◎渡辺和也（矢作） ○阿部朗子（弥彦）  
石井 亘（井田） 柏原貴也（麓二区） 石塚孝也（矢作） 東樹 薫（美山）  
高田美鈴（弥彦） 渡邊友博（井田） 三富浩子（観音寺） 二村清人（弥彦）  
事務局 堀 隆行・白井宏侑（社会教育課）  
※ ご意見、お聞きになりたいことがある方は、近くの委員、もしくは、社会教育課事務局にお電話ください。（事務局 94-4311）